

大切なのは平時の備え

災害対策研修会

7/20

名古屋大学減災連携研究センターの平山修久准教授を講師に招き、区長、地域安全女性推進委員、役場職員を対象に災害対策研修会を開催し、「大規模災害に学ぶトイレの現状と環境衛生」と題して講話をしていただきました。災害時のトイレに必要な水の量や臭い、病原菌に対応する方法の一例など、トイレ問題の概要から平時の備えまでを学びました。今後も地域の皆さんを対象とした研修会などを実施していきます。



▲熱心に聞いている様子



▲平山修久准教授

訓練の成果を発揮！

第62回愛知県消防操法大会

8/5

碧南市の2号地多目的グラウンドで第62回愛知県消防操法大会が開催され、ポンプ車操法の部に幸田町消防団が出場しました。この部門には県内23市町村の消防団が出場し、7位入賞しました。当日は消防団員を始め、団員の家族や団員OBなど、たくさんの人たちが応援に駆け付けました。この大会を目指して今年の春先から約5カ月に渡る訓練を行ってきた成果を存分に発揮して見せた団員たちに、応援団から大きな拍手が送られていました。



▲火点をめがけて放水



▲7位入賞を果たした幸田町消防団

自由研究はこれで決まり！

夏休みこども教室 科学実験教室

8/5

中央公民館ホールで科学実験教室が開催されました。参加した子どもたちは5つのブースを順番に体験し、化石のレプリカ作りやCDゴマで錯視実験などを行いました。バナナからDNAを抽出する実験では、2人1組ですりつぶしたバナナをろ過し、液体と混ぜることで抽出しました。子どもたちは楽しそうに実験を行い、科学の不思議に触れることができて充実した表情でした。



▲化石のレプリカ作りを楽しむ参加者



▲DNAを抽出する実験にチャレンジ！

まちがと

身近な情報を広報へ

リサイクルの現場を見学

環境学習会 8/17

リサイクルの仕組みを学び、ごみの減量を意識してもらうために小学生の親子を対象とした環境学習会を開催しました。古紙のリサイクルを行っている事業所、(株)大久保東海宮地事業所(岡崎市)と(株)エコペーパーJ.P(尾張旭市)を訪れ、実際に作業が行われている工場内を見学しながらリサイクルの工程について説明を受けました。実際に古紙などが再生される様子を見た小学生からは「紙を大切に使わなきゃね」と、うれしい言葉が聞かれました。



▲古紙の再生工場を見学



▲リサイクルの仕組みを熱心にメモしていました

学びの場は町全体

夏休み動く町政教室 8/23

町内の施設を周り町政を学習する、夏休み動く町政教室を行いました。役場内で議場や町長室を見学した後、深溝の本光寺に行き、島原藩主深溝松平家のお墓を見て幸田町と島原市のつながりを学びました。また、町民会館では舞台の裏側を見学しました。その後、町にある製造業のうちの1つフタバ産業(株)幸田工場を見学しました。最後は、町の安全を守る消防署で、消火訓練と消防車・救急車の勉強をしました。夏休みの終盤に良い思い出ができたようです。



▲本光寺で島原藩主のお墓を見学しました



▲上手に消火訓練ができました

世界にひとつだけの勾玉! 夏休みこども教室 勾玉づくり教室 8/26

郷土資料館で行われた勾玉づくり教室に親子15組が参加しました。棒ヤスリや金ノコを使い滑石という石を削ってたまかな形を作ります。そして、サンドペーパーで1時間ほどかけて形を整えました。子どもたちは手を真っ白にしながら石を一生懸命磨き、古代のものづくりの大変さを学びました。本物の勾玉のような重厚感のある仕上がりに子どもたちは満足そうな様子でした。



▲一生懸命磨いていきます



▲ピカピカの勾玉の完成!

フォトニュース

広報直通ダイヤル(63) 5132
FAX(63) 5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

お祭りイベントで大盛況！

こうた夏まつり

8/19

ハッピーネス・ヒル・幸田で第20回こうた夏まつりが開催されました。隣接する光明寺川では魚を捕まえるポンツク大会が行われ、ステージではダンスや太鼓の演奏が披露されました。中でもコウタレンジャーショーはその日一番の盛り上がりを見せ、子どもから大人まで夢中になっていました。終盤に近付くとやぐらを囲んで盆踊りが始まり、花火の打ち上げで締めくくられました。祭りには約30,000人が訪れ、来場者は幸田の夏の祭典を楽しみました。



- ①②ポンツク大会 ③キッズダンス ④フラダンス ⑤和太鼓演奏 ⑥風揚げ ⑦野外ライブ
⑧木のからくり ⑨出店の様子 ⑩幸戦隊コウタレンジャーショー ⑪盆踊り ⑫打ち上げ花火
⑬手筒花火

まちがと

身近な情報を広報へ

東京オリンピック2020をイメージ

第8回 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 岡崎・幸田地区大会

8/27

第8回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会の予選となる岡崎・幸田地区大会が岡崎市にある「悠紀の里」で行われ、幸田町少年少女発明クラブから3チームが出場しました。1チーム3人でパレード走行する「からくりパフォーマンスカー」を作成。1分以内に決められたコースを走行し、からくりパフォーマンスの内容や作品の工夫点を競いました。幸田町から出場したチーム「花火」が東京オリンピックをテーマにした作品で見事、優勝に輝きました。



▲優勝した「花火」のからくりパフォーマンスカー



▲自慢のからくりを審査員にアピール

防犯・防災について学ぼう！

防犯・防災教室

8/23~31

町内の児童クラブを対象に防犯・防災教室を開催しました。防犯教室では、「危ないところに近づかない」、「不審者に遭遇したらまず逃げる」など、被害に遭わないための行動や不審者が児童クラブに侵入してきた時の対応について学びました。防災教室では、食料、水の備えなど地震が来る前に準備しておくことや、地震が発生した時には「あわてず」、「まずは頭を守る」など身を守る行動について学びました。



▲頭を隠して身を低くする、シェイクアウト訓練



▲防犯教室では不審者への対応を学びました

旬の味を召し上がれ♪

筆柿初出荷

9/18

幸田を代表する秋の味覚、筆柿の初出荷がJAあいち三河幸田営農センター内の筆柿選果場で行われました。前日に収穫して選果場に持ち込まれた筆柿を選果ラインに載せて、まずは人間の目で傷をチェックした後、近赤外線による光の透過量で柿の甘・渋を判別し、段ボールに詰めて出荷の準備がされていました。今年の筆柿は7、8月に雨が少なかった影響で小ぶりでしたが、糖度は例年並みで甘い筆柿になっているそうです。



▲まずは人間の目で傷をチェック



▲小ぶりながら色つやの良い筆柿がいっぱい

まちがとフォトニュース

広報直通ダイヤル(63) 5132
FAX(63) 5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp